

## 「一人ひとりの良さや可能性を活かした保育を考える」受講後アンケート

No.	質問 ①	質問 ②
	本日の研修会のご感想をご記入ください。	今後、未就学児の発達支援について関心のある研修内容をご記入ください。
1	今までの保育では、支援児や気になる子に対して他の子と同じように活動をさせなければならぬと思っていました。この子に対して特別扱いするのではなく、一人ひとりが平等になるよう配慮の仕方を変えていく必要があると感じました。今回の研修は学びが多く、事例を通して考え、とても分かりやすく説明されていてよかったです。貴重なお時間過ごさせていただきありがとうございました。	事例を通した子への配慮の仕方、保育教諭の関わり、保護者に対してどのように支援が必要なのか学びたいと思いました。
2	ご講演ありがとうございました。インクルージョンを超えてトラスクルージョンという考え方があることを初めて知りました。問題点モデルの考え方だけでなく、信頼モデルでの考え方・計画の考え方もあるんだなと思いました。	
3	動画や事例で実際の場面を想定して自分の対応を検討することができました。多様性について改めて確認できたことで支援に活かせると思いました。	医ケア児の対応や、集団遊びの中で出来ることなどあれば教えていただきたいです。
4	今回の研修では合理的配慮やインクルージョンの内容をより深く、そして具体的に理解できました。すべての子どもたちにとって幸せに毎日が過ごせるようこれからも考えていくことを続けていこうと思いました。 有益な講義ありがとうございました。	
5	配慮を要する子？言葉の発達や1歳児の行動、なんでもいやいや逃げたり、お友だちをたたいたり、毎日担任は、発散させるにはと考えています。 本人たちの充実感、周囲の関心、同じような気持ちになることがいかに大事か知りました。（目の前のこどもが今何を願い、何にもがき、何を越えようとしているのか保育士が関心をむけること）	3ヵ月の子が入園したいが、人見知りで、母乳だったのでミルクも飲まない。おお声で泣く。入園してから3ヵ月慣れるまでにかかってしまいました。乳児の対処のしかたを研修で聞きたいです。
6	合理的な配慮と言う言葉をよく耳にしていたが、それを現場で実践することはなかなかできていなかった。子どもの立場になって考えるを意識して支援していきたい。	
7	ワンテンポ引いて見ることで、その子がどう思っているのか何を考えているのか気づくことがあるということを知ることができ、一歩引いて見ることも大事であると感じました。 活動の参加について、同じ時間や場所で同じことをさせるのではなく、本人の充実感と周囲の関心が大事で同じような気持ちになることが大切ということが分かりました。	運動からの発達支援や言葉がなかなか出ない子への関わり方について。

No.	質問 ①	質問 ②
	本日の研修会のご感想をご記入ください。	今後、未就学児の発達支援について関心のある研修内容をご記入ください。
8		アスペルガー障害、自閉症スペクトラム障害、ADHD等などの病気に対する、わかりやすい講座と、その園児に他する個別支援の仕方の年間を通しての勉強会を行ってほしい。
9	講師の先生の声が聞こえずらかったのが残念でした。	日常生活における基本的なトレーニングなどの内容など。
10	これからの保育の概念として、とても大切なところを確認できました。ありがとうございました。	子どもの姿の見立て方や、環境構成の活かし方等を学べたらと思います。
11	研修を開催していただきありがとうございました。	子どもの集団生活の適応について
12	研修ありがとうございました。お話を聞きながら、何度もハッと考えさせられる場面が多くあり、今の自分の保育はどうか、子どもたちのことを見つめられているかな、と振り返ることができました。課題は多くあるかと思いますが、できることから始めていきたいと思えます。また、それを職員同士でも共有し、自分の感覚での当たり前や普通にとらわれないようにしていきたいです。	痙攣を起こした時の対応があれば、詳しく聞いてみたいです。
13	勉強になりました。また、自分の保育の振り返りにもなりました。 EQUALITYとEQUITYのイラストでの違いがとても分かりやすかったです。	発達に配慮した支援と、保育する側の人員配置について。 保護者支援について。
14	皆が思う普通はちがう！その子の普通があるという言葉が残ります。また『この子はどういう風に思うのか？』とってくれる大人の存在。その大事さを改めて感じます。そう思える保育者でありたい。色んな意見があるという事も理解していく事の大切さ。子ども大人も社会の中で同じだと気付かされます。	園の取り組み、行政との連携、外国と日本の違いなど 学びながらどうしていくかを考える内容 時間はかかるかもしれませんが少しずつ変わっていくといいなと思います。
15	事例がありイメージしやすく理解できました。子どもの目線に立って試行錯誤しながら保育に向き合っていきたい。	最近、児童デイ利用の児童が多いと感じます。保育士として保育所以外の施設や病院でどのように子どもが評価されて園外でどう過ごしているのか、またデイでの活動にどのようなメリットがあるのかが知りたい。
16	インクルージョンをしながら保育をしていく大切さを学び、それを活かしていきたいとおもいます。	0歳から2歳児までの気になる子の対応等で研修があれば助かります。0歳児で8時間保育園にいるけど30分程度しか寝なくて、眠りぐずりで激しく泣く子の対応があれば勉強したいです。

No.	質問 ①	質問 ②
	本日の研修会のご感想をご記入ください。	今後、未就学児の発達支援について関心のある研修内容をご記入ください。
17	子どもの気持ちや感性を一番に考えて寄り添うことが大切だと思うが、実際に現場で実践しようと思うと難しいと思った。	事例を元に学ぶ研修がしたい。
18	今日の研修を受け、事例を取り入れながらのお話でわかりやすかった。始めに出てきた事例の話で、子どもの気持ちに寄り添うこととルールを教えたり守らせることのバランスの難しさは現場でもよく感じていることだと思った。ひとりひとりの存在を尊重したり認め合いながら、みんなが居心地よく園生活を過ごせるようにしていきたい。	ひとりひとり様々な個性があるけれど、配慮が必要な子への具体的な援助方法や保護者への対応について。
19	平等と公平と考えた場合や、実際保育現場の中でどこまで一人ひとりに向きあっていけるかなど課題を感じました。	発達支援児への関わり方、保護者支援
20	非常に勉強になる研修会でした。配慮を要する子への接し方関わり方を明日から違った形に出来そうです。また機会がありましたら是非直接会場でお話を聞いてみたいと思いました。	実際の事例を元にした対応集などあれば参加したいと思いました。
21	「一人ひとりのよさや可能性をたいせつにする」ことはいつも心にあります。一人一人が神様につくられた高価で貴い存在です。一人ひとりの個性、才能、タラントを見つけ伸ばしてあげたいと願っています。事例の中に、ルールを破って子どもの気持ちに寄り添う事例がありました。現実の現場では厳しい状況がありますので、補助金やサポーター育成なども整備していただきたいです。	未就学児の発達支援についてどのように保護者支援をしていくか教えていただきたいです。
22	子どもが考えている事に視点をおいて考えてあげることやルールにとらわれず子どもがなにを求めて学んでいるかを捉えて保育に向かえるようにしたいと思いました。柔軟な物の見方や考え方が大事なんだと考えさせられました。	育てにくさを感じている保護者の支援
23	小学校で、特別支援学級の担任を今年度初めて受け持つことになった今、小学校の入学前の未就学児童に対する見方、接し方や評価 指導計画・支援計画について小学校との違いや、共通点。常に子どもを合わせるのではなく、学校が子どもに合わせていく！ 勉強になりました。	未就学児童はもちろんです、小学生対象の研修も開催して欲しいです。本日は、ありがとうございました。
24	内容が良くて聞き入りましたが所々ネット環境の不具合で聞き取れないことが多くとても残念に思いました。改めて聞きたい内容です。	現場で起こりうる事例からの問題提起から対応の在り方をアドバイス頂く内容。同じことでも子どもが変われば対応の仕方は違うと思いますが少しでも対応の糸口に繋がってほしい。
25	色々な視点から子ども達一人ひとりの姿を捉えて関わっていききたいと思った	

No.	質問 ①	質問 ②
	本日の研修会のご感想をご記入ください。	今後、未就学児の発達支援について関心のある研修内容をご記入ください。
26	日々の業務を振り返りながら、気づきの多い時間となりました。ありがとうございました。	保護者支援について。
27	とても勉強になる講演内容でした。信頼モデルを意識して関わっていこうと思いました。	親自体が問題意識がない時の子供の就学支援の対応方法について知りたいです。支援級が特性別で分けられている現状があるようだと言われます。実態がどんな内容なのか知りたいです。
28	子供中心ではなく大人中心のルールになっていないか、“普通“とは何かなど、気付かされる言葉が多く、子ども1人ひとりの気持ちに寄り添い気持ちを考えられるようになりたいと感じました。	
29	「参加」の捉え方について、子どもの視点で考えていくことの大切さを改めて感じました。	
30	子ども一人ひとりが違うことを前提に受け入れ保育をしていく大切さがわかった。 実践などを含めた説明などわかりやすかった	
31	今回の研修受け、配慮を要する子に対する視点の違いに気づきました。私も、支援計画は問題点ばかりになっており、信頼モデルのような考え方はできていなかった。ひとりひとり違って、ルールも大人が作ったものであり、配慮を要する子にとって生きづらい環境だったのではないかと改めて見つめなおすことができたので、今回の話を聞いてよかったと思いました。 貴重な話をしてくださり、ありがとうございました。	配慮を要する子との遊び